

第4回「ペアレンティング・トゥギャザー ～みんなで子育て～ プロジェクト」
実施報告

1 日時

令和5年4月26日（水）16時00分～17時00分（対面及びZ o o m）

2 次第

- 「子育て応援宣言企業の輪を広げる会」会長挨拶
- 構成員・事務局 自己紹介
- 意見交換
 - ・「今年度のプロジェクトの実施計画について」
 - ・「令和5年度情報番組及び動画作成による男性の育児休業取得促進の先進的な取組紹介事業について」
- 事務連絡
 - ・「福岡県における病児保育の無償化について」

3 報告事項

今年度のプロジェクトの実施計画について意見交換、「令和5年度情報番組及び動画作成による男性の育児休業取得促進の先進的な取組紹介事業」及び「福岡県における病児保育の無償化」について報告を行った。

4 出席者

- ・ファシリテーター
- ・構成員（代理含む）：8名
- ・事務局：5名

第4回

「ペアレンティング・トゥギャザー ～みんなで子育て～ プロジェクト」 議事録

	<p>(「子育て応援宣言企業の輪を広げる会」会長挨拶 (省略))</p> <p>(新任者・事務局の自己紹介等 (省略))</p>
事務局	<p>ここからは、大野会長に進行をお渡ししたいと思うので、よろしくお願 いする。</p>
大野 会長	<p>ではまず、第4回となる今回のプロジェクトテーマだが、今年度のプロ ジェクトの実施計画についてである。 まず、事務局の方実施計画について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、今年度のプロジェクトの実施計画についてご説明させていた だく。事前に準備させていただいた資料を用いて説明する為、資料をお 手元にご用意願う。</p> <p>本会議は、仕事と子育ての両立ができる職場環境の整備や、推進方法を 検討し、社会全体で子育てを応援するための施策を提案することを目的 とし、企業間で意見交換、情報共有の場を設定して、好事例の横展開を 行っていく。</p> <p>その時々に応じた課題を把握して、県の施策にも反映させることとして いる。会議の流れとしては、皆様からご意見やお声を基に毎回2つテ ーマを設定して議論していただく。テーマの例としては、資料に記載し ているようなものを想定している。</p> <p>また、会議終了後は概要や議事録を本県のHPで発信していく。</p> <p>また、会議にご出席いただいている皆様方のお名前についてはHPでの 公表はしない為、安心いただいて率直なご意見をいただければと思う。</p> <p>会議の開催時期については、年間4回程度を考えている。</p> <p>過去の開催については、参考資料にある通り、3回実施しており、開催 年月日については、資料の通りとなっている。過去の会議内容について も、先ほどお伝えした通り、県のHPに掲載しているので、後程確認い ただければと思う。</p> <p>続いて今後のスケジュール案について。</p> <p>本日は、第4回会議としてただいま説明している今年度のプロジェクト として今年度に意見交換したいテーマや、後ほど説明する本県で行う事 業や情報番組、先進的な取り組みについての紹介事業の意見交換を行 う。</p>

	<p>次回、第5回については、現時点で8月上旬から中旬を考えている。テーマは未定。</p> <p>第6回以降の開催については、改めて事務局から連絡させていただく。説明は以上となる。早速意見交換に移らせていただければと思うので、第5回会議以降のトークテーマについて皆様からの意見を願います。仕事と子育ての両立や、子育てを応援する社会スキームのために皆様方の職場で課題となっていることや、今注目されていることなど広く意見交換していただければと思う。</p> <p>よろしくお願い申し上げます。</p>
大野 会長	<p>今、県の方から説明のあった実施計画について、全4回の会議テーマを決めて進めるということだが、計画を立てるにあたって、何かご意見はあるか。</p> <p>年4回は多い、もう少しみんなで集まって話した方がいい、或いはもっとメンバーを増やした方がいいなど、意見があればと思うが、いかがだろうか。</p>
A 社	<p>私自身、会議の趣旨がよく理解できてないのかもしれないが、こういった会議に参加して意見を述べることによって、その結果が福岡県民にとって、どういう形で役立っているのかというのが、申し訳ないが理解できていない。例えば他の企業さんの話を聞いて、私たち参加者は共有できて学びになるようなところがあったとして、それを私たちだけが満足していい話ではないのだろうなと感じている。そもそも私たちがどんなことをすれば、福岡県全体に貢献できるのかというのは、まだわかっていない。</p> <p>テーマをどうするかもそうだが、それでちょっともやもやしているところがある。</p>
大野 会長	<p>素直で率直なご意見であり、私も賛成である。</p> <p>ここに参加している企業の中の情報交換で終わっており、それが本当に行政の方でどういった形をとっているのかと。</p>
事務局	<p>まずこういった場での意見をいただき、ホームページで会議の内容について周知しているところで止まっているのが現在の実態だ。</p> <p>A社のおっしゃる通り、今後幅広く県内の色々な企業にこういったことを知っていただくために公表していく等、検討させていただきたい。</p> <p>また、もっと幅広く見ていただけるような媒体などについて考えたいと思う。</p>

大野 会長	それについて、ほかに意見はあるか。
B 社	<p>今 A 社のお話があったので、それに加勢するような形になるが、現在ロータリークラブに入っており、外部から講師の方を招いて 30 分公演のようなことをやっていた。</p> <p>少し前に、子育て応援を実践しているすごい企業がいらっやって、その方がどのように取り組んでというような内容をお話いただいて、とてもきちんとしているように感じた。</p> <p>子育て応援宣言に登録されてない企業でも、多分そういうものすごく子育て応援について取り組んでいる企業も多分いるのではと思うので、そういう方々を勉強会のような感じで招きお話いただいて、良い例がもしあればそれを参考にした方がいいのでは。</p> <p>皆様に提示できるほどのことを何もできていないので、しっかりとした取り組みを行っている企業から取り組み事例などを紹介いただいた方が、参考になるのかなと思ひ挙げさせていただきました。</p>
大野 会長	地域、会社で、或いは家族で子育てしている事例を実際に聞いてみたいが、そういったことは出来るのか、事務局回答をお願いします。
事務局	この会議にお呼びしてということであれば、まず規約から確認しなければと思うが、オブザーバーで参加していただいてお話を伺うことは、可能ではないかと考える。
大野 会長	会員というのは、ここに来ている会員だけではなく、応援宣言に登録している企業が会員なのか。
事務局	<p>まず輪を広げる会に属していただいている、その輪を広げるための実務者会議として、この会が位置付けられている。</p> <p>設置要綱で見ると、会議の構成員が輪を広げる会の会員企業の人事労務に携わっている。必要に応じて、構成員以外のものを会議に出席させ意見を聞くことができるとある。</p> <p>よってオブザーバーとしてご参加していただくというのは、あり得ると思う。</p>
大野 会長	<p>それでいいように思う。</p> <p>実務者会議に、そういうケースのある企業にオブザーバーに入ってもらい、お話いただければ勉強になるように思う。</p>

事務局	<p>それからこの会議のメンバーをもっと増やすことだ。6人とかではなく、30人ぐらいいてもいんじゃないかと思うがどうだろう。それくらい動いていかないと、皆辞めていくように感じる。</p> <p>行政が言いたいこと、言わなきゃいけないことがあるのも理解している。実際男性の育休事例としてどういう風に取り組んでいるかをオブザーバーとして入っていただくのもいいかもしれない。</p> <p>皆様方から要望をいただき、そちらを検討して参りたい。</p>
大野 会長	<p>こういった手厳しい意見も言ってほしい。一社一社に聞いてみたいと思う。C社はどうか。</p>
C 社	<p>私も1年参加させていただき、いろいろ考えながら参加していたつもりだが、先ほどから出ている、何がお役に立っているか。</p> <p>これがどのように発信されていくのかということは、もう少し私も考えなければいけなかったと今聞きながら感じている。</p> <p>県のHPで会議内容の公表はされているということだが、私たちがこのように集まって出た意見というのを、実際にどのくらいの人がHPまで見てくださっているのかというのを把握していないところがあり、それがもっと増えた方がいいのであれば、やはりそういう提供の場も考えなければいけないのかなと思ったりした。</p>
大野 会長	<p>確におっしゃる通りだ。</p> <p>ではD社、初めて参加してどうか。</p>
D 社	<p>私は先ほど大野会長がおっしゃったように、この会議がHPで周知されているということだったが、まずこの会員をもっともっと増やし、まずそこで周知ができればどんどん広がるのではないかなと感じた。</p>
大野 会長	<p>なるほど。</p> <p>この会の会員さんを広げるような予定は。</p>
事務局	<p>いろいろと会長と話をし、まず建付けが輪を広げる会の構成メンバーを増やさないといけないというのがあったが、現実的には、親会議の方のメンバーが減っているような状況。こちらを満たしていけば、当然、実務者会議のほうもメンバーとしては増えていくとは思いますが、どうやって増やしていくのかということが難しい。皆様方から、お声掛けをいただいている、総会メンバーを増やし実務者会議でもメンバーを増やしてい</p>

	くというのはあるとは思う。
大野 会長	輪を広げる会の構成メンバーを増やし、実務者会議の人数を増やす。それが良い。 同じことを同じメンバーで行っても変わらないように思う。 では、E社。
E社	先程勉強会という話があって、それは確かに聞いてみたいと思った。企業側としての取り組みを共有いただけるとありがたい。しかし社労士の方等から、法の改正や、助成金について等、色々とリーフレットとかで周知されているとは思いますが、実務になると手が出ないというのが正直なところなので、現場に沿った会があってもありがたいと感じている。もしよければそういったものもご検討いただけたらと思う。
大野 会長	そうしたら、次は、F社。
F社	質問なのだが、広げる会自体の会員数というのは。
大野 会長	子育て応援宣言企業が約8,200社いる。
事務局	輪を広げる会はその中の有志の集まりで今は9社。
大野 会長	それが親会。
事務局	年に1回でずっとやっていたが、事務方レベルで話をしている、皆様方のご意見も聞きながら、県の施策の方に活かしていけたらなど。もしくは、皆様方から連絡したいことをお話いただいて、それを情報発信できたらなど。そういった取り組み。 去年の第1回目は育児休業、男性の育児休業等がテーマとなっていたので、皆様方の会社でどのようなことをしているのかといった話をお聞きした。2回目は本県で考えたものだが、IT、DX化というような話があったので、各企業様において、そちらのデジタル人材の育成とかはどのようなのかといったようなテーマで行った。
F社	実際参加させて頂いていて、今育休中という職員がいない。 私自身は今子育てをやっているが、じゃあ私が参加していて本当にここで役に立つのかと考えるとところはある。デジタル人材についても、社内

大野 会長	<p>は IT については当たり前の会社なので。</p> <p>F社は今、人手不足なので、色々な企業からお願いされると思うが、その際に育休をとるから人が足りないと、そういう話が来ると思う。</p> <p>こういう話が多いという情報や、女性、子育てに関してどんな求人が欲しいのか、という意見を企業からもらうといいのではないだろうか。</p> <p>続きまして、あとは、G社。</p>
G 社	<p>私も最初、こちらの実務者会議に入らせていただく際、親会の、実際実務の立場で何かテーマがあったらその話をとのことであった。</p> <p>ただ正直、弊社では先に進んだ取り組みも全然出来ておらず、男性の育休もこの間実施したのがはじめての取り組みだった。</p> <p>それは事実として伝えられるが、今後どうしていくということは、どうしても会社内、今の私たちの中でも悩ましいところで、こういう風にしていくということはあまり言えない。</p> <p>ただ、他の皆様が取り組んでいると聞いて、勉強してくださいと言われてたので、皆さんからも、実際実務の方からいろんなことで悩んでいるなとか、取り組みをされているというのを学びの一つとしてまた会社に出していきたいという部分と、あとは先ほどの講師、講演とか、そういったものの参加とか、まずはそういったことをしていただけるとまた次に進めるのかなと思う。</p> <p>この会を進めるにあたってどういうことを協議するかというレベルではないというのが正直なところだ。</p>
大野 会長	<p>育休を導入したことは凄いことだ、十分なレベルだと思う。</p> <p>それでは今日が初めての参加となる H 社、全体見てどうか。</p>
H 社	<p>私は今日初めて参加させていただいたが、県という組織の中で決められて私たちが集められているということを認識したうえで、これは民間主導でやるのだったら一気にいろんな事が出来るのではないかと思った。</p> <p>もちろん福岡県の取り組みなので、県主導でやっていくとしたら、例えば不妊治療が保険になり、お産のお金も少しばかりではあるが 50 万程返ってくることになった。行政においては、岸田内閣は産後保険に力を入れるとはっきり断言しており、国が断言しているということは県にも降りてくるのではないかと思う。その時に「どう対応する」ではなく、「そういうお金がこういったことのためにほしい」というのを折角だったらこの場で議論して、ここを助成してもらったらいいのだというようなことを含めて福岡県モデルというようなものをつくったらどうかと思</p>

	<p>った。</p> <p>また、福岡県は、産婦人科医のレベルというとな国ナンバーワンである。そういう産婦人科医や小児科医、メンタルケアのドクターとかこういう方々も招いて、無理させたらこんなトラブルになるとか、復職するためにこういうことをしておくといいと企業の皆様あてにしておくといい勉強になるかなというふうに思った。</p> <p>まとめると、母数を多くするということには賛成である。ただやみくもに増やすのではなく、食品管理や IT 企業、医療系とか教育等の様々な業界の方々に参加してもらおうと、少しずつ違うのではないかなと思う。また私が妊娠した時に、子育て応援宣言企業に入った。その間県の方から何か具体的なアクションがいただけたかというところで、例えば認定証くらいは頂いたが、そこで途切れている。せっかく宣言企業に手を挙げたのだったら、宣言企業は産後鬱等のメンタルケアを優先的に受けられるとかのメリットがあればより多くの企業に参加してもらえと思う。</p>
大野 会長	<p>新鮮な意見だった。</p> <p>ということで、皆様のご意見が今挙がったが、親会の「輪を広げる会」の母数をまず増やすと。その中でいろんな勉強会が出来るのであれば参加いただいて、話を聞きながらやっていくというようなこともすごくいいかなということだった。そして、今 G 社さんがおっしゃったように、子育て応援宣言企業に手を挙げたが、次は何かないのかということだ。今までの意見をまとめるとそういうことであった。</p> <p>これをもとに計画を見直して、と思っているがよろしいか。</p> <p>では続いて二つ目のテーマに移る。</p>
事務局	<p>今年度から新たな事業として実施するのは、資料にある「令和 5 年度情報番組及び動画作成による男性の育児休業取得促進の先進的な取り組み紹介事業」ということである。</p> <p>目的としては、男性育児休業を取得できるように、従業員が仕事と出産・子育てを両立できるよう、職場環境を整えることが重要となる。</p> <p>「産後パパ育休」の創設など、改正育児・介護休業法の施行を受けて、これをテレビ番組や YouTube、Instagram を通じて、子育て応援宣言企業の実践例を基に企業の皆様に情報提供をして育児休業が取得しやすい職場づくりを推進していきたいと考えている。</p> <p>事業の概要を手短かにご説明差し上げる。資料に詳細、番組名が載っているが、時間の都合上省略させていただく。表にあるように、まずテレビ番組について、民放、KBC のチャンネルで平日と日曜の夜、視聴率</p>

<p>大野 会長</p>	<p>の高い時間帯の約2分間、福岡県オリジナルの番組を放送する。番組内では、番組のMCと育児休業を取得した男性従業員の方や、またご夫婦の方にご出演いただき、育児休業を取得した時のエピソードなどを対談していただく。その中で、企業の育児休業取得のために取り組みを実施していただいている企業様については、企業の取材映像を交えながら放送していきたいと考えている。</p> <p>今回の事業の目玉と考えており、12社の企業の皆様にご出演いただこうと考えている。各社1回ずつご出演いただく。</p> <p>様々な取り組みをご紹介したいと考えており、4/20から公募という形で募集を行っている。今回ご参加いただいた皆様にも応募の資格があるので、ぜひご応募を検討いただければと考えている。</p> <p>主なスケジュールとして、8月以降の取材、収録を経て、11月の「福岡みんなで家族月間」の期間中に放送したいと考えている。応募資格に関しては、子育て応援宣言登録企業事業所であること、福岡県内に本社を有する企業であること、また男性育児の参加、育児休業の促進に向けて効果的かつ特色ある取り組みを実施していることとなる。この3つ目については後程意見交換としてご意見をいただければと考えている。</p> <p>出演について、応募のハードルを下げるため出演料は無料としている。また企業代表者からのメッセージもいただく。育児休業取得促進の盛り上がりを目指しているため、皆様におかれましてもぜひご応募の方をよろしくお願いいたしますと考えている。</p> <p>次に、情報番組内での特集について、朝の情報番組内で5分から10分以内の特集を組み、制度の説明や、県の取り組みを中心に説明差し上げる。</p> <p>二つ目はYouTubeやInstagramでの動画の配信について。こちらは人事労務のご担当者にご出演いただき、人事労務管理制度や運用上のことなどを中心に取り組みを紹介しようと考えている。ご出演企業については過去の知事表彰企業にご出演いただき、先進的な取り組みを紹介したいと考えている。こちらは10月下旬ごろ動画をアップしたいと考えている。SNSをご利用いただけない環境の企業様もあるかと思うので、県からDVDを貸し出して、個人勉強や団体企業様の研修にご利用いただけるようにする予定である。</p> <p>いずれも県が委託契約を結ぶ番組制作会社とKBC、プロの方の撮影・編集による番組の動画になる。視聴者の方に分かりやすく情報を届けたいと考えている。</p> <p>概要は以上となる。</p> <p>県にはテレビ番組を作ってもらっている。</p>
--------------	---

	<p>番組を作成することについて、4月20日に公募しているというのはもう皆存じているのか。ホームページに行かなければ情報は見られないのか。</p>
事務局	<p>一応メルマガでの周知は行っている。</p>
大野 会長	<p>メルマガはなかなか見られない。それこそ、子育て応援宣言企業と手を挙げているところにファックスなどを用いて出した方がいい。</p>
事務局	<p>後ほどファックスで送付させていただく。</p>
大野 会長	<p>ということでよろしいか。色々私たちが頑張っているものを、テレビを用いて表に出して形にできればということである。 そして、引き続き、最後。</p>
事務局	<p>最後に事務局から事務連絡として、福岡県における病児保育の無償化事業についてご説明差し上げる。本件については事業担当課となる子育て支援課の方にご説明いただきたいと思う。</p>
子育て支援課	<p>それでは、福岡県における病児保育の無償化についてご説明させていただく。資料をご覧いただきたい。まず本事業を進めるにあたっての背景として、お子さんが病気の際、インフルエンザなどから回復しても数日間は保育所を利用できないことが多く、定額の子ども医療費に加え病児保育利用に関する負担も生じていた。それから病児保育を利用する子どもが0歳から2歳の場合、保育料の返還もなく、保育料と病児保育利用の両方が発生するという声が挙がっていた。</p> <p>こういったことから、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図ることを目的に、本事業を実施することとしたものである。このほか、就労している保護者が安心して子育てと仕事を両立させる観点からも病児保育の充実は効果が高いものと判断している。</p> <p>この支援を行うことでこれまで利用料があるために利用を控えていた潜在的なニーズ、主にパート従業員の利用などを想定しているが、そういったニーズを掘り起こせると考えている。</p> <p>次に事業内容について、病児保育の実施主体である市町村及び企業主導型保育事業所に対し、これまで保護者が負担している利用料について助成を行うこととしている。</p> <p>他県の先行例では、家計の所得や子供の人数、対象者を限定した取り組みが行われているが、今回の対象は原則すべての家庭を対象としてい</p>

	<p>る。補助の対象については、①政令市中核市を含む、病児保育を設置している市町村、②病児保育事業所を実施している企業主導型保育事業所などを想定しており、病児保育の実施主体への補助を行うことで、利用者は施設での費用負担がないような仕組みを想定している。対象経費は、利用者が負担する利用料のみで、例えばおやつ代や昼食代など別途料金が発生しているものは含まない。</p> <p>補助額は一日当たり 2,000 円を上限としている。県内の施設のうち、市内住民の利用料金のほとんどが 2,000 円以内だったためこの金額としている。負担割合が 10 分の 10 負担することとしている、資料の下の図は補助のスキームだが、今回の説明からは差し控えさせていただく。説明は以上となる。</p>
大野 会長	C 社さん、これについて知っていたか。
C 社	知っている。利用料 2,000 円で、実際使っていたが、病児保育の場所自体がすごく少なく、すごく苦勞した経験がある。
H 社	小児科等と併設されていたりするの。
C 社	そうですね。そこぐらいしか思いつかなかったの。
大野 会長	そのあたりはどうなの。
子育て支援課	今は主に、病院の併設が多い。地方もしている所はちらほらあるというところで、今回我々が利用料を無償化して、今までは使いたいけどお金が発生するし、我慢していた人たちが出てくるのではないかなとは思っている。どれだけ増えるかはよく分かってはいないが。その増えた分をもって市町村の方で計画を立ててやっているの、そこで増えた分をフォローできるような施設を整備したり、そういうところで計画されるのではないかと考えている。
H 社	市町村が用意をするの。
子育て支援課	基本的にはそうである。
H 社	県がお金を負担することで子供のいる人が行きやすくなり、利用率は高くなるが、施設が足りない分はそれだけニーズがあるならと市町村で預かる施設を増やすと。

子育て支援課	もちろん市町村で建てるところに国や県から補助金が出る。
H 社	国と県からも補助金が出る形で病児保育の施設を増やすと。
大野 会長	これは実際に今子供がいる人は真剣に見るのだろうが、そうでない人は見ていない。 だから、まず自分の会社の中にいる人や、近所の友達等で子供の件で苦労している方に周知していただけたらなというふうに思っている。求人において人事担当者等に周知いただき、広めていかなければいけない。こうして少しずつではあるが、子供が育ちやすい状況を作ろうと行政も動いているので協力お願い申し上げる。
H 社	それこそ産婦人科とか小児科とかにポスターとかを張っていただいたら。
子育て支援課	もちろん病児保育施設には張っていただいている所もある。 県内の全保育所にもチラシとポスターを配っている。
大野 会長	終了時刻となったが、ほかに何かあるか。 先ほど皆さんからいただいた意見については、私の方から事務局と話を進めていきたいと思っている。
事務局	よろしくお願い申し上げる。
大野 会長	事務局からほかに何かあるか。
事務局	今日の話聞いていて一点のみお願い申し上げたいのだが、我々が新雇用開発課という労働部門であるので、この会では仕事と子育ての環境づくりや職場の整備など、労働に関係する部門で議論いただきたい。ご協力いただければありがたい。 これからも本県の方も現在来年の施策とかをちょうど議論していく最中なので、ぜひヒントとなるような意見を頂けたら我々も非常に助かる。もちろん、全部を実現出来るわけではないが、基本的には皆さんから頂いたご意見を基に、できるだけ本県の施策に反映させていただきたいと思っている。ぜひ皆さんにご協力いただけたらと思っている。

大野 会長	アイデアや意見があったらメール等でご連絡頂きたい。 他に意見はあるか、よろしいか。 以上で本日の第4回会議を終了するが閉会してよろしいか。本日はご参加いただき感謝申し上げます。
-------	--